

□2月2日説教(宇部教会・西山禎牧師)短縮版
「怒れるイエス」(マタイ21:12~17)

イエスは境内で商いをしていた人々や参拝客らをことごとく追い出された。それからイエスはそこにいたハンディキャップを背負っていた人々を癒され、子どもたちの賛美を喜ばれた。当時の社会においてその存在価値すら認められていない、ひっそりと生きる人々を深く憐れまれた。

祭司長たちや律法学者らはイエスに激しく詰め寄った。イエスが社会秩序を破壊したからであった。イエスは言われた。ここにふさわしいのはこのような人々、社会から疎外されている人々である。神の国は信ずる者と共にある。世の形あるものは滅びるが、み言葉は絶えざるものであり、それが我らにとってなによりの幸いである。(終)

